

家庭言語の維持は、後の言語発達の全てにおいての基盤となります。お子さんに強力な言語モデルと会ったり、話を聞いたり、コミュニケーションをとったりする機会がある場合、お子さんは容易に多言語を習得することができます。

ビクトリア州の早期教育専門家は、ビクトリア州早期学習・発達フレームワーク (VEYLDF) に従っています。このフレームワークでは多言語使用は強みであると認識されており、子供たちが家庭言語を維持し、早期教育・ケアプログラムに通っている間に英語を追加言語として学習し、英語以外の言語を学習するよう支援されることが期待されると定められています (VEYLDF、2016年)。

家庭言語を維持し、発達させ続けていくことは、お子さんにとって多くの利点があります。

- お子さんは家庭言語の使用を通して、認知的柔軟性と認知発達を促すことができます。
- 家庭言語の維持は家族関係、家族関係の構築、家族への帰属感に必要不可欠なものです。
- 家庭言語はお子さんのアイデンティティ、文化、ウェルビーイングに密接に結びついています。
- 家庭言語の流暢さは、英語などの追加言語を学習する上で手助けとなります。

VEYLDF (2016年) では教育者に「第一言語または家庭言語の習得と維持はアイデンティティを構築する上で重要で継続的な役割を持っています」(18ページ)と説明しています。したがって、英語を追加言語として発達させる支援において不可欠なことは、教育者とご家族が共同パートナーシップを構築し、お子さんが家庭言語を維持し、発達させ続けることを促し、支援することです。

## 幼児教育やケア環境における追加言語としての英語の発達

お子さんにはビクトリア州の幼児教育やケア環境で英語を学習する機会が豊富にあります。研究から「子供たちは英語(または他の言語)を追加言語として、言語や明示的なモデル形成、言語教育に触れ、新しい言語を習得するのに適切な時間を通して、首尾よく学習できる」(VEYLDF、2016年、22ページ)ことが分かっています。

一つの言語を知っていることは、他の言語がどのように機能するのかを理解する上で手助けとなります。一つの言語で開発した能力は、新しい言語に流用することができます。家庭言語を通して、お子さんは新しい言語、その規則、単語を理解することができます。英語環境に浸かった時に、お子さんには多くの異なる文脈で英語を聞く機会があります。お子さんは仲間に入り、他の子供たちと一緒に遊びたいと思い、教育者は良いモデルとなり、お子さんが英語を聞き、練習する機会を豊富に提供します。

言語能力は、お子さんの今までの言語体験、新たに触れる言語や新しく体験する学習環境に沿った、適切なペースにて発達します。多言語を同時に学習している子供たちは、一時期、他の言語に比べて一つの言語をより多く話すことがあります。初めのうちは話をする時に言語を混ぜて話すことがあります。ある単語を一つの言語では知っていても他の言語では知らないかもしれません。会話の流暢さを維持するために、子供たちは知っている単語を使用します。このことは、多言語の文脈を通して言語を使用する中で、子供たちが開発する自然で柔軟な能力です。

## 覚えておいて欲しいこと

新しい言語で会話の流暢さを発達させるには時間がかかり、追加言語を学習する過程で子供たちは、時間と周りの大人から無理強いしない支援を必要とします。

家庭言語を使用することと学習することは、全ての子供たちの権利です (UNCRC、1989年)。

### 参考文献

教育・訓練省、2016年。ビクトリア州早期学習・発達フレームワーク。  
国連児童基金(ユニセフ)、1989年。国連による子供の権利条約(UNCRC)。